

ロック・ミュージックにおける主題語のカテゴリ分析

小室 悟

ロック・ミュージックの検索はアーティストや作品名で行われることが一般的で、主題検索はあまり行われていない。ロック・ミュージックのためのシソーラスや分類表、詳しく記載のある件名標目表は現在のところ存在しない。こうした主題分析ツールを作成したり、主題検索を効果的に行うためには、ロック・ミュージックの主題語の特徴を把握する必要がある。本研究の目的は、ロック・ミュージックにおける主題語の特徴をカテゴリの面から分析することである。

ロック・ミュージックの作品の特徴を表す語を主題語とし、それをさらに「トピック語」と「印象語」の2つに分けて扱った。主題語を抽出する情報源として『ロック・ミュージックの歴史』(音楽之友社)と『死ぬまでに聴きたいアルバム 1001 枚』(ソフトバンク クリエイティブ)の2つを使用した。抽出された主題語をカテゴリに分類するために『日本語大シソーラス』(大修館書店)における中カテゴリと大カテゴリの2種類のカテゴリを使用した。中カテゴリと大カテゴリは階層関係にある。たとえば、中カテゴリの「健康・病気」, 「人物・能力」, 「感情」などは大カテゴリの「人間性」に属する。さらに、主題語の分布を基に中カテゴリのクラスタリングを行い、新たにクラスタリングカテゴリを作成した。トピック語においては、「I-a」と「I-b」及び「II」の3つ、印象語においては、「I-a」～「I-d」及び「II」の5つのクラスタから成る。

主題語を中カテゴリで分類した結果、全71項目の中カテゴリのうち61の項目に分類された。このことから、主題語が対象とする分野が幅広いものであることがわかった。

次に、カテゴリごとに年代による割合の変化を比較した。そのために、調査対象としての主題語をあらためて『死ぬまでに聴きたいアルバム 1001 枚』より「1960年代」, 「1980年代」, 「2000年代」の3つの年代ごとに抽出し、上記の3種類のカテゴリで分類した。

その結果、全体的には、大カテゴリにおいて「社会的活動」, 「人間性」がトピック語、印象語の両方でいずれの年代においても高い割合を示していること、中カテゴリでは「感情」の項目がトピック語、印象語の両方でいずれの年代においても一定以上の割合を示していることが分かった。大カテゴリ別割合においては年代による差が少ないが、中カテゴリ別割合の比較においては年代によって中心となるカテゴリがあり、その項目や割合が大きく変動していることが分かった。

以上の結果から、主題語が対象とする分野が幅広いものであること、いずれの年代においても一定以上の割合を示す普遍的なカテゴリが存在すること、主題語が対象とする分野が年代によって大きく移り変わることが、ロック・ミュージックにおける主題語の特徴として明らかになった。

(指導教員 緑川信之)